

10・20・30・40リットルの

燃やせるごみ用袋の 素材が変わります



岩見沢市指定ごみ袋は、これまで“高密度ポリエチレン”という素材を使用し製造しています。しかし、昨今の中東情勢の影響により、入手が困難となったため、10・20・30・40リットルの燃やせるごみ用袋は“低密度ポリエチレン”に素材を変更し製造します。

なお、素材の使用が少ない5リットルの燃やせるごみ用袋と、製造数が少ない燃やせないごみ用袋は、これまでと同じ素材を使用し製造します。

これまで 高密度ポリエチレンのごみ袋

手触り シャカシャカしている

色 薄いピンク

特徴 硬くて伸びにくい



これから 低密度ポリエチレンのごみ袋

手触り ツルツルしている

色 濃いピンク

特徴 柔らかく伸びやすい



Q 気になるギモンにお答えします A

Q 新しい素材のごみ袋の強度は大丈夫？

素材の変更後も十分な強度が保たれます

Q これまでのごみ袋は、そのまま使えるの？

これまで通り使えます。また、ごみを出す際のルールに変更はありません

Q 料金は変更になるの？

素材の変更に伴う料金の変更はありません

Q 新しい素材のごみ袋は、いつから販売されるの？

令和8年9月製造分から使用する素材を変更します。お店にある在庫がなくなり次第、新しい素材のものに入れ替わっていきます

Q いつまで新しい素材で作られるの？

今後の見通しは未定です。状況が変わり次第、広報紙や市ホームページなどでお知らせします